

アプリケーションカタログ 塩化アンモニウムの純度

関連業界	:	その他
使用装置	:	電位差自動滴定装置
測定手法	:	電位差滴定法/酸塩基滴定
関連規格	:	JIS K 8116-1996

1. 概要

塩化アンモニウムの純度の測定は『JIS K 8116-1996 塩化アンモニウム(試薬)』に基づいて、試料に 0.1mol/L 水酸化ナトリウム標準液で中和したホルムアルデヒド液 25mL と水の混合液を加えて溶解した後、電位差滴定法により 1mol/L 水酸化ナトリウム標準液を当量点付近まで定量注入し、1 時間放置した後に再度 1mol/L 水酸化ナトリウム標準液を用いて当量点まで滴定する。当量点は滴定曲線の最大変曲点である。定量注入を含めた 1mol/L 水酸化ナトリウム標準液の滴定量から塩化アンモニウムの濃度を算出し、純度を求める。

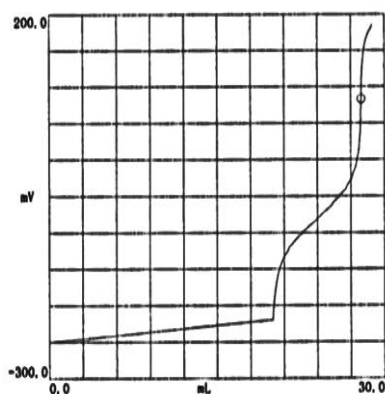
2. 装置構成

本体	:	電位差自動滴定装置 (プリアンプリファイア: STD)
電極	:	複合ガラス電極

3. 試薬

滴定液	:	1mol/L 水酸化ナトリウム標準液、0.1mol/L 水酸化ナトリウム標準液
試薬	:	塩化アンモニウム
添加薬	:	中性ホルムアルデヒド希釈液
指示薬	:	0.1%フェノールフタレイン溶液

4. 測定例



—滴定曲線—

—測定結果—			
	Size (g)	Volume (mL)	Purity (%)
1	1.5036	27.9327	99.4664
2	1.5003	27.8725	99.4703
3	1.5040	27.9556	99.5215
平均			99.486
標準偏差			0.030
RSD (%)			0.030

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>